



(1 / 3)
20250520 評基第 015 号
2025 年 6 月 2 日

認 定 証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JNLA 認定プログラムの試験事業者として認定する。

認 定 識 別: JNLA 000149JP Testing

適合性評価機関の名称: 株式会社太平洋コンサルタント
中央技術センター

法 人 の 名 称: 株式会社太平洋コンサルタント

適合性評価機関の所在地: 千葉県佐倉市大作 2-4-2

認 定 範 囲: 2 ページ目以降に記載の 7 区分

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JNLA 認定) に記載した
認定要求事項

認定発効日: 2021 年 8 月 31 日

認定の有効期限: 2025 年 8 月 30 日

初回認定発効日: 2005 年 8 月 31 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長

石毛 浩美

- ・ IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
- ・ 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- ・ この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- ・ IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

試験所名 : 株式会社太平洋コンサルタント 中央技術センター
試験所所在地 : 千葉県佐倉市大作2-4-2
実施する業務 : 試験、結果の報告及びマネジメントシステム運用(全認定範囲)

<認定範囲>

認定発効日：2021年 8月31日					
分野 名称	試験する 材料又は 製品	試験の種類 (試験方法の 区分の名称)	構成要素、 パラメータ又は特性	製品試験等に係る日本産業規格の番号、 項目番号及び記号	特記 事項
土木・ 建築	建築材料	骨材試験	ふるい分け、微粒分 量、単位容積質量・実 積率、有機不純物、密 度及び吸水、すりへ り、安定性、粘土塊、 アルカリシリカ反応性	試験方法規格 JIS A 1102 JIS A 1103 JIS A 1104 JIS A 1105 JIS A 1109 JIS A 1110 JIS A 1121 JIS A 1122 JIS A 1134 JIS A 1135 JIS A 1137 JIS A 1145 (ただし、8.3はa)に限る) JIS A 1146	-
				これを引用する規格 JIS A 5001 5.2、5.3及び5.4 JIS A 5002 5.6、5.7、5.8、5.9、5.10及び5.11 JIS A 5005 7.2、7.3、7.4、7.5、7.6、7.7及び7.8 JIS A 5308 附属書JAのJA.10 a)、JA.10 b)、JA.10 c)、 JA.10 d)、JA.10 e)、JA.10 f)、JA.10 g)、 JA.10 h)、JA.10 i)、JA.10 j)、JA.10 k)、 JA.10 n)及びJA.10 o)	-
		コンクリー ト・セメント 等無機系材料 強度試験	コンクリートの曲げ強 度、コンクリートの圧 縮強度、セメントの強 さ	試験方法規格 JIS A 1106 (ただし、供試体の作製、形状及び寸法の許容差 の測定を除く) JIS A 1108 (ただし、供試体の作製、形状及び寸法の許容差 の測定並びに附属書Aを除く) JIS R 5201 11 (ただし、曲げ強さ試験及び附属書Cを除く)	-
				これを引用する規格 JIS A 5308 附属書JCのJC.7.1.8及びJC.7.2.5 (ただしA法に限 る) JIS A 6204 6.2.7 e) JIS R 5210 6.1 JIS R 5211 6.1 JIS R 5212 6.1 JIS R 5213 6.1 JIS R 5214 7.1	-
		セメント・混 和剤(材)試 験	フライアッシュの品質 試験、セメントの物理 試験、セメントの水和 熱試験	試験方法規格 JIS A 6201 8.1.2、8.2、8.3、附属書JD及び附属書JE JIS R 5201 7、8.1、9 (ただし、附属書Aを除く)及び10 (た だし、附属書Bを除く) JIS R 5203	-
				これを引用する規格 JIS A 5308 附属書JCのJC.7.1.7及びJC.7.2.4 JIS A 6201 8.4及び8.5.3 JIS R 5210 6.1及び6.3 JIS R 5211 6.1及び6.3 JIS R 5212 6.1 JIS R 5213 6.1 JIS R 5214 7.1	-
		骨材・セメン ト・コンク リート化学分 析試験	骨材の塩化物量、セメン トの化学分析、セメン トの蛍光X線分析	試験方法規格 JIS A 5002 5.5 JIS R 5202 5、6、7、8、9、10、11、12、13.1、14、15、 16.1、17.2及び18.1 (ただし8.4は8.4.1、10.1.3 は10.1.3.1、10.2.3は10.2.3.1に限る) JIS R 5204 (ただし附属書JEは除く)	-

分野 名称	試験する 材料又は 製品	試験の種類 (試験方法の 区分の名称)	構成要素、 パラメータ又は特性	製品試験等に係る日本産業規格の番号、 項目番号及び記号	特記 事項
続き	続き	続き	続き	これを引用する規格 JIS A 5002 5.2、5.3及び5.4 JIS R 5210 4.2、4.3及び6.2 JIS R 5211 5.3.1及び6.2 JIS R 5212 6.2 JIS R 5213 6.2 JIS R 5214 5.2、6.4及び7.2	-
		湿式重量・減 量・残分・灰 分試験	懸濁物質の量、溶解性 蒸発残留物の量、ス ラッジ水の濃度	試験方法規格 JIS A 5308 附属書JCのJC.7.1.4、JC.7.1.5及びJC.7.2.6	-
		溶液中の塩化 物イオン量試 験（電位差滴 定法）	塩化物イオン濃度	試験方法規格 JIS K 0113 の5.	-
				これを引用する規格 JIS A 1144 4 c) JIS A 5308 附属書JAのJA.10 p)、附属書JCのJC.7.1.6及び JC.7.2.3（ただし、JIS A 1144 4 c)に限る）	-
		形状・寸法試 験	モルタル及びコンク リートの長さ変化	試験方法規格 JIS A 1129-2	-
				これを引用する規格 JIS A 6204 6.2.7 f)	-